

松戸のマンパワーが集結

「アートパーク6

「みんな子ども宣言」開催



ピカソチックで絵具遊び

れました。『みんな子ども宣言』は、アートパークに集まるすべての人(子ども、学生、大人)が子どもの時間や気持ちを共有することで、新たな「学びの場」を創造することがねらいです。

当日は、猛暑にもかかわらず過去最高の千百九十二名の親子が集まり、公園のさまざまな場所を生かした八つのワークショップを一日楽しみました。今回で六回目となるアートパーク

は、松戸市のみならず、東京や埼玉からの参加者もありました。

昨年同様、児童学科のゼミ等と、地域団体(まつど子育てさばーとハーモニー、松戸まちづくり会議、アトリ

エミルクル、KEYAKIDSーケヤキッズ、クリエイティブまつど工房)が、企画・運営を行いました。

ワークショップは、大量の段ボールで作った「ピカソチック」での絵具遊び(大成ゼミ)、木漏れ日のある空間を生かした「こもれびすいぞくかん(柴山ゼミ)」、スライム遊び(細戸ゼミ)、新聞紙等で帽子を作る「いかれ帽子屋(野上ゼミ)」、KEYAKIDSからの発案を園児や学生らと具現化した「おかしな家(保育科有志)」などがありました。さらに、造形教室ミルクルと美術部はパレードを行いました。

七月七日(日)、松戸中央公園で「アートパーク6」みんな子ども宣言」(主催／聖徳大学児童学研究所、生涯学習研究所)が開催さ



クルクル象バスパレード